

クラウドファンディングに挑戦！

～地元企業との関わり～

情報処理科 3年 和田 晃輝

1. テーマの設定理由

クラウドファンディングを実行するのは初めての試みでした。自分自身、活動をしていく中で感じるものがたくさんありました。これを学校や後輩のために資料として残すことができたらいいなと思ったからです。

2. 使用ソフト

① Photoshop（フォトショップ）

有料の画像編集ソフトです。実際の授業でも使用することがあり、情報処理科では学校で身近に使える編集ソフトの1つとなっています。

② GIMP（ジンプ）

無料の画像編集ソフトです。誰でも使えることができ、Photoshop に引きを取らない性能を持っています。

3. 研究内容

7年前に「ももこつ」という駄菓子商品が商業科で開発されました。しかし、商業科の先生から「ももこつ」の売り上げが少ないという現状を聞かされました。この状況を打破するために、新しいパッケージを提案しましたが、印刷する資金が無いという課題が出ました。資金を調達するためにクラウドファンディングを行います。

研究では、プロジェクトの内容、返礼品、目標金額の設定など、飛騨信用組合様にアドバイスをしてもらいながら、活動をしていきました。そして、クラウドファンディングという新しい分野を学校や後輩に残せるような資料を作成してきました。

4. 苦労した点

クラウドファンディングを実行するのが初めてのため、何から始めていいのか分からなかったことです。飛騨信用組合様の担当の方に来てもらい、講義をしてもらいました。しかし、プロジェクトの内容、返礼品の用意、手数料を含めた費用の合計金額、プロジェクトを成功させるための目標金額など、自分たちで決めなければいけないことが多く、アドバイスをして貰いながら活動をしました。

企業様に対して質問があっても、先生を間に挟まないといけなかったので、時間がかかりました。日程通りに作業が進まなかったことです。

5. 研究成果

クラウドファンディングの実施期間は、34日と短い時間でしたが、目標金額の15万円を超える16万5,500円が集まりました。プロジェクトは無事に成功し現在は返礼品の準備をしています。

また、今回の研究を通して、学校と地元企業の信頼関係を目の当たりにしました。企業様から見ると1つの仕事かもしれませんが、私たちから見ると、対応がわかりやすく、心やさしい印象を受けました。信頼関係を築くのに長い時間がかかりますが、関係が壊れる時はあっさりです。日常での人と人との関わりを大切にしないといけないということを改めて感じました。